

令和3年度 事業報告書

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月 31日

公益財団法人 明石文化国際創生財団

令和3年度 公益財団法人明石文化国際創生財団 事業報告書

令和3年度は公益法人として11年目の新たなスタートの年でしたが、ご承知のとおり新型コロナウイルス感染症の甚大な影響を受け、公益目的事業の文化芸術及び国際交流のいずれについても、計画書に掲げた事業のうち、いくつかは中止や縮小を余儀なくされる状況となりました。

ただ、このような状況だからこそ、市民の元気や希望につながるよう、明石における文化芸術の振興と国際交流の推進を図り、心豊かでうまいとやすらぎのある市民生活の実現と多様性を尊重した国際性豊かな市民文化を創生し、個性豊かで活力のある地域社会の発展に寄与するため、できる限りの公益事業の実施に努めました。

- | |
|-------------------|
| 1. 公益目的事業 |
| 公1 文化芸術推進事業 |
| 公2 国際交流推進事業 |
| 2. その他事業等 |
| 他1 明石フィルハーモニー支援事業 |

1 公益目的事業

公1 文化芸術推進事業

市民の文化的、芸術的な活動を推進し、賑わいのあるまちづくりを一層進めるため、明石市とも連携し、次の事業を推進しました。

1 文化芸術事業の開催

地域の空間や施設を活用し幅広い分野の文化芸術を鑑賞・体験できるイベントや明石ゆかりの美術作家の作品展などを開催し、市民への文化芸術の鑑賞機会の提供や創作活動を行っている個人・グループへの支援を行いました。

(1) コンサート等

① あかしふれあいコンサートの開催

音楽を通じた賑わいのあるまちづくりや次世代育成の一環として開催し、まちかどにおける中高生などによる吹奏楽等の演奏を鑑賞する機会を広く提供しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、6月から9月及び3月は中止しましたが、その他の月については、3密回避、体温チェックや消毒液の設置など、感染症対策を講じて開催しました。

〔開催日及び出演者〕 毎月1回、原則週末(土曜)の午後

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| ① 4月17日(土) 錦城中学校 | ② 6月19日(土) 二見中学校・望海中学校(中止) |
| ③ 8月21日(土) 野々池中学校(中止) | ④ 9月4日(土) 魚住中学校(中止)※ |
| ⑤ 10月16日(土) 衣川中学校※ | ⑥ 11月13日(土) 明石北高校※ |
| ⑦ 12月4日(土) 望海中学校(200回記念)※ | |
| ⑧ 1月15日(土) 二見中学校・江井島中学校 | |
| ⑨ 2月19日(土) 子午線ウィンドオーケストラ※ | ⑩ 3月26日(土) 沢池ミュージックイベント(中止)※ |

(計 実施6回・中止4回)

〔開催場所〕 明石市民会館中ホール及びイオン明石「SEA PARK」※

〔観客〕 一般市民 延べ 約1,000人

② ひとつぶのたねクラシックコンサート・ひとつぶのたねおやこクラシックコンサート

明石市民会館との共催により、明石にゆかりのある若手音楽家による演奏会を開催し、市民にクラシック音楽を気軽に鑑賞できる機会を提供しました。幅広い世代に鑑賞いただけるよう親子向けと一般向けコンサートを隔月で開催しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、5月は延期、2月は中止としましたが、その他は3密回避、体温チェックや消毒液の設置など、感染防止対策を講じて開催しました。

[開催日及び出演者] クラシック系音楽家の出演

- ① 5月 8日(土) 竹内久力:クラリネット、山口彩菜:ピアノ 11月に延期
- ② 6月12日(土) 加賀景子:ピアノ・フルート、堂山真裕美:ピアノ ※
- ③ 7月10日(土) 木管五重奏(富井篤司:クラリネットほか)
- ④ 8月14日(土) WA&O:ソプラノ、本梅靖子:ピアノ ※
- ⑤ 9月11日(土) サクソフオーン四重奏(村田礼奈:アルトサクソフオーンほか)
- ⑥ 10月9日(土) 石田さと子:サクソフオーン、広谷陽子:マリンバ ※
- ⑦ 11月13日(土) 竹内久力:クラリネット、山口彩菜:ピアノ
- ⑧ 12月11日(土) 李裕璃:ソプラノ、松村沙弥香:ピアノ、原田えみ:クラリネット ※
- ⑨ 1月 8日(土) 泉由香:ソプラノ、柘植章子:フラウトトラヴェルソほか
- ⑩ 2月12日(土) 東恵子:ピアノ、野崎実果:ファゴット、川端裕美:フルート ※中止
- ⑪ 3月12日(土) 深江亮太:フルート、植田祐加里:ピアノ

(計 実施9回、延期1回、中止1回) (※は親子コンサート)

[開催場所及び開催時間] 市民ホール 14時～15時15分

[入場者] 一般市民 約800人

③ スーパーキッズ・オーケストラ明石公演

兵庫県立芸術文化センターのソフト事業であるスーパーキッズ・オーケストラの演奏会を、感染防止対策を講じて開催し、クオリティーの高い純粋な音楽を、子どもたちをはじめ幅広い世代が楽しめる機会を提供しました。

[開催日] 2月6日(日)

[開催場所] 西部市民会館ホール

[出演者] スーパーキッズ・オーケストラ

[入場者] 一般市民約400名

④ 吹奏楽の夕べ(明石市芸術祭)

市内で活動する吹奏楽団体が一堂に会した演奏会を明石市芸術祭の一つとして開催し、広く市民が音楽を楽しむ機会を提供する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

[開催予定日] 8月22日(日) (中止)

[開催予定場所] 明石市民会館大ホール

[出演予定者] 小・中・高・一般の吹奏楽部、吹奏楽団 24団体

⑤ 音楽のつどい(明石市芸術祭)

市内外で活動する合唱団体が一堂に会した音楽会を、明石市芸術祭の一つとして感染防止対策を講じて開催し、日頃の練習成果を広く市民に披露しました。

なお、コロナ禍で練習が困難なこともあり、参加団体が例年の半数程度に留まりました。

[開催日] 11月3日(水・祝)

[開催場所] 明石市民会館大ホール

[出演者] 市内外で活動する合唱団体13団体

⑥ オンラインコンサート

コロナ禍において、市内や近隣地域で活動するアーティストによるホールでの無観客演奏を撮影・配信しようとしたましたが、感染防止対策を講じた上で、市民に生の音楽を提供する事業に重点化したため、実施を見送りました。

(2) 美術展、作品展等

① 第15回 明石文化国際創生財団 MERIDIAN 美術展

市内出身のアーティストの作品展を開催し、広く市民に明石にゆかりのあるアーティストを紹介するとともに、広く市民に美術作品の鑑賞機会を提供しました。また、公益財団法人移行10周年を記念し、来場者に名司生氏のイラスト入りマスクケースを贈呈しました。

[開催日] 3月12日(土)～3月22日(火)
[開催場所] 文化博物館ギャラリー
[出展者] イラストレーター 名司生
[入場者] 一般市民 約1,100人

② スマイルギャラリーでの作品展示

明石市内外で創作活動を行っている美術愛好家に作品展示を行う場を提供するとともに、広く市民に美術作品の鑑賞機会を提供しました。

[開催日] 4月2日～4月26日「竹中信清作品展」から
3月3日～3月26日「MERIDIAN ILLUSTRATION CONTEST 入賞作品展」まで
計14回開催
[開催場所] スマイルギャラリー(アスパシア明石3階連絡通路)
[出展者] 近隣の美術作家など
[入場者] 不特定多数の一般市民

(3) 創作活動の発表機会の提供

① 次世代アーティスト支援事業

新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている文化芸術分野において、次代を担うべき将来有望なアーティストの活動を支援するとともに、多様なジャンルのアート活動を広く市民が体感・体験できる機会を提供しました。

○ アートを体験するワークショップ

広く市民がアートに触れ、アートを身近に体験できる機会として、一般公募により舞台演劇に関するワークショップを2回開催しました。

・大人の朗読劇ワークショップ

[開催期間] 9月～11月(7回)
[開催場所] 町劇 Akashi bb
[指導] 劇団ソラシード
[参加者] 一般市民 6名

・朗読とミュージカルのワークショップ

[開催期間] 1月～3月(16回)
[開催場所] 町劇 Akashi bb 他
[指導] 劇団ソラシード
[参加者] 一般市民 10名

○ 舞台演劇

舞台演劇の振興と市民への演劇鑑賞機会の提供のため、市内で演劇活動を行っている者等による舞台演劇イベントを、感染防止対策を講じて開催しました。3月のミュージカルは、「アートを体験するワークショップ」参加者の成果発表を兼ねて開催しました。

・朗読劇「忠臣蔵 武士編」・「忠臣蔵 OL編」(作:平田オリザ)

[開催日] 12月18日(土)、19日(日) 1日2公演
[開催場所] 町劇 Akashi bb
[出演者] 市内外で活動する舞台演劇者
[入場者] 一般市民 約120人

- ・あかしDEミュージカル4 (The 朗読劇 ver.)・「ボクンチ 2002」(作：如月小春)
 - [開催日] 3月12日(土)
 - [開催場所] 明石市民会館中ホール
 - [出演者] 公募市民、市内外で活動する舞台演劇者
 - [入場者] 一般市民 約150人

○ ヘッドアートプロジェクトチーム支援事業

ヘッドアートプロジェクトチームと協力し、明石からジャンルにとらわれないアート表現のひとつとして「ヘッドアート」関連事業を開催し、その芸術性を世界へ発信しました。

- ・ヘッドアートフォトコンテスト及び入賞作品展

ヘッドアートに特化したフォトコンテストについて、新型コロナウイルス感染症の影響により、会期を延期して開催しました。全国から作品を公募し、受賞作品を明石駅などに展示するとともに、作品の芸術性の高さを広く市民に披露しました。

- [募集期間] 4月1日～8月24日 作品展示10月
- [応募作品] フォト部門167作品、デザイン画部門24作品
- [入賞作品展示場所] 明石駅構内及びスマイルギャラリー

- ・ヘッドアートコレクション

フォトコンテスト入賞者による実演披露でのオーディション、プロによるデモンストレーション、フォトコンテスト過去入賞作品の展示等、様々なコンテンツによるヘッドアートコレクションの開催は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

○ 明石アーティスト協会支援事業

本市の文化芸術の発展と市内で活動するアーティストのネットワーク構築のため計画していた、分野を超えたアーティスト競演による公演は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止し、オンライン配信しました。

- [配信日] 9月、3月
- [主な内容] 「まち子おばあちゃんの音はなしの時間」
たなかしん原作作品や昔話の朗読に合わせたタップダンス動画
- [撮影場所] 町劇 Akashi bb
- [出演者] 明石アーティスト協会
- [視聴者] 一般市民

○ 若手演奏家クラシックコンサート

若手クラシック演奏家による「明石クラシックコンサート」を、感染症対策を講じて9月と2月の2回開催しました。若手クラシック演奏家の発表機会の提供とともに、明石におけるクラシック音楽の普及を図りました。

- ・「至高の室内楽 ～革新と伝統の響き～」

- [開催日] 9月18日(土)
- [開催場所] 西部市民会館ホール
- [出演者] 坂本彩(ピアノ)、黒川侑(ヴァイオリン)、柳生厚彦(ヴィオラ)、向井航(チェロ)
- [入場者] 一般市民 148人(客席半数程度に制限)

- ・「華麗なる編曲の世界 ～ウィーンの奇才・フンメル魔法～」

- [開催日] 2月23日(水・祝)
- [開催場所] 西部市民会館ホール
- [出演者] 坂本彩(ピアノ)、大江浩志(フルート)、嶽崎あき子(ヴァイオリン)、上塚憲一(チェロ)
- [入場者] 一般市民 182人

○ 0歳からの親子コンサート

0歳児から親子で楽しめるクラシックコンサートを、「明石クラシックコンサート」の午前中に同会場で感染症対策を講じて開催し、明石におけるクラシック音楽の普及を図りました。

[開催日] 2月23日(水・祝)
[開催場所] 西部市民会館ホール
[出演者] チェロ・アンサンブル・エクラ
[入場者] 一般市民 322人

○ フレッシュコンサート

音楽大学在学中の市内在住或いは出身者である音楽家の卵たちの演奏会を感染症対策を講じて開催し、出演者の研鑽意欲を喚起するとともに、澁刺とした演奏を市民に披露しました。

[開催日] 2月5日(土)
[開催場所] 市民ホール
[出演者] 市内在住・出身の音楽大学在学中の学生3名 総出演者数6名
[入場者] 一般市民30名

② 明石市合同芸術祭

新型コロナウイルス感染症の影響による一部事業の開催見送りなど規模を縮小しましたが、明石市文化団体連合会の団体間の連携や相乗効果により、それぞれの活動の一層の活性化や市民文化の一層の向上を図るため、できる限りの感染防止対策を講じて明石市芸術祭を合同開催しました。

[開催日] 11月6日(土)、7日(日)
[主な内容] ・ダンスカーニバル ・いけばな展 ・お茶会(中止)
・民舞と邦楽のつどい ・アンサンブルコンサート など
[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし
[出演予定者] 明石市文化団体連合会所属の15団体を中心とする文化団体
[入場者] 一般市民 延べ約1,400人

③ 明石薪能

歴史と文化の息づく明石のまちで「明石薪能」を開催することにより、多くの市民に質の高い伝統芸能を鑑賞する機会を提供しようとしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、昨年に引き続き2年連続で中止としました。

[開催予定日] 10月2日(土)
[予定演目] 狂言「伯母ケ酒」 能「田村」
[開催予定場所] 県立明石公園西芝生広場 組立式能舞台
[出演予定] 上田能楽堂

(4) 創作活動のコンテストの開催

① 明石市美術展(明石市芸術祭)

広く市内外から作品を公募し、市長賞をはじめとする賞に該当する優秀な美術作品を選出するとともに、明石市芸術祭として入選作品展を開催しました。今回は、事前申込、部門ごとの作品受付、搬入搬出、表彰式の時間差設定などの感染症対策を講じて開催しました。

[募集期間] 8月～11月
[応募者] 美術作品の創作活動を行っている者、ジュニアの部：小・中学生
[応募作品] 一般 洋画、日本画、書道、彫刻・工芸、写真の5部門 258点
ジュニア 書道、絵画の2部門 550点
[開催場所] 明石市立文化博物館ギャラリー
[作品展示期間] ジュニア：11月25日(木)～28日(日)

前 期：12月1日（水）～5日（日）日本画・彫刻工芸・書道
 後 期：12月8日（水）～12日（日）洋画・写真

[入賞作品] 一 般 市長賞、議長賞、美術協会賞 各部門1点
 奨励賞 全体で40点

ジュニア 市長賞、議長賞、美術協会賞 小・中学生別に各部門1点

[表彰式] 12月11日（土）文化博物館

② 明石市文芸祭

広く市内外から作品を公募し、市長賞をはじめとする賞に該当する優秀な作品の選出及び表彰式を開催しました。

[募集期間] 7月1日（木）～8月31日（火）

[応募者] 一般（文芸作品の創作活動を行っている者）、ジュニア（小・中学生）

[募集作品] 一 般 俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学の7部門
 ジュニア 俳句、川柳、短歌の3部門

[入賞作品] 一 般 市長賞、議長賞、教育長賞、神戸新聞社賞、実行委員会賞
 （各部門1点）、佳作（各部門3～5点）

ジュニア 市長賞、議長賞、教育長賞、神戸新聞社賞、実行委員会賞
 （小・中学生別に各部門1点）、佳作（小・中学生別に各部門
 8～10点）

[表彰式] 3月18日（土）子午線ホール

③ キッズ青空のど自慢大会

「子どもの日」にちなみ、五月の青空のもと、生伴奏で歌う元気な明石っ子の歌声を広く市民に披露するのど自慢大会を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

[開催予定日] 5月5日（木・祝）

[開催予定場所] アスピア明石1階アトリウム

[出演予定者] 市内在住の子どもたち（幼・小・中・高生）

④ ちびっこアーティスト育成事業（Greatest Kid's Talent in Akashi）

子どもたちの芸術活動を支援するため、18歳以下の子どもたちの芸術活動動画を公募し、選考の上、優秀な10組にステージ発表機会を提供しました。ステージ発表者のなかから、最優秀賞等を選出し表彰しました。

また、ステージ発表の動画を配信し、視聴者からの投票により視聴者賞を贈呈しました。

[募集期間] 8月1日～10月31日

[応募者] 市内・近隣市町在住の就学前の児童から高校生まで 25組（71名）

[最終審査] 12月18日（土）明石市立西部市民会館ホール

[表彰者] 最優秀賞 ほしぞら亭きらり（落語）/優秀賞 fairy Ballet（ダンス）
 審査員特別賞 中尾華（ヴァイオリン）/リトルキッズ賞 Cute Lock Girls（ダンス）
 財団10周年賞 あかし太鼓（和太鼓）/視聴者賞 諏訪部奏音（独唱）

[入場者] 一般市民 138人

[YouTube公開期間] 12月25日～2月25日 1,750ビュー

⑤ オンライン芸術作品コンテスト（MERIDIAN ILLUSTRATION CONTEST）

コロナ禍のもと、美術作品の創作活動を行っている人に発表機会を提供するとともに、文化芸術の振興を図るため、Web限定でA4サイズのイラストレーション作品の公募展を行いました。応募作については、イラストレーター名司生氏による審査の上、優秀作を選考し、ホームページやSNS等で公開しました。

[募集期間] 11月10日（水）～12月28日（火）

- [応募作品] 142点
[結果発表] 2月18日(火)
[優秀作品] 最優秀賞1点、優秀賞1点、コンセプトチュアル賞1点、
クリエイティブ賞1点、デザイン賞1点、入選10点

(5) 学校での文化芸術の鑑賞機会の提供

① 学校へのたこフィル派遣事業

学校へたこフィル団員を派遣し、音楽の生演奏を子どもたちに提供する事業を計画し、小・中・養護学校に案内しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、派遣を希望する学校はありませんでした。

- [開催予定期間] 通年
[派遣対象] 市立小・中・養護学校
[派遣アーティスト] 明石フィルハーモニー管弦楽団の団員

2 文化芸術活動支援事業

多様な文化芸術の担い手が連携・協働する拠点としての緩やかな相互ネットワークの形成を図り、アーティストや文化団体、地域住民、行政とのコーディネートや、市民やアーティストのプラットフォーム機能の充実、情報提供、助成、相談など、中間支援組織としての役割を担い、地域の文化芸術の推進を図りました。

(1) コーディネート機能を充実させ、緩やかな相互ネットワークの形成を図る事業

① アートマネジメント講座

美術、音楽や演劇などでの展示方法や広報などを統一的にマネジメントし、より多くの人に、より質の高い芸術に触れる機会を提供できるようアートマネジメント講座の開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

② 文化芸術関係施設・機関ネットワーク会議

市内の主な文化芸術関係施設や機関による情報交換や連携のあり方を協議するネットワーク会議については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一堂に会する会議は中止し、個別協議や文書による情報共有としました。

- [参加団体等] 明石文化国際創生財団、明石市立文化博物館、明石市民会館、
明石市立図書館、明石市立天文科学館、明石観光協会など

③ 文化芸術活動団体やイベントの実行委員会事務局の分担

それぞれの活動が円滑に行われるよう明石文化団体連合会(明石市芸術祭)、明石薪能、明石市文芸祭などの実行委員会事務局等を担当し、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を考慮した上で、事業の実施の可否や実施方法、並びに感染症対策について調整等を行いました。

(2) プラットホームの提供や情報共有により市民の活動を支援していく事業

① 機関紙・広報紙の発行

○ 財団機関紙「創生」の発行

財団の事業内容を広く広報するとともに、市民活動や市内の文化財などを紹介するため機関誌を発行しました。(vol.29 6月発行, vol.30 10月発行, c vol.31 2月発行)

[発行部数] 各回3,300部

[内容] vol.29: 新型コロナ影響下での文化芸術活動アンケート調査の紹介など
vol.30: 役者 はせなかりえ氏の紹介、ヘッドアート受賞作品の紹介など
vol.31: イラストレーター 名司生の紹介、明石クラシックの紹介など

○ フリーペーパーの発行

財団主催事業に加え、市内で開催される各種文化芸術事業やアーティストの活動等を紹介し、市民の芸術活動への参加を促進しました。

[発行] 年6回(4、6、8、10、12、2月の隔月発行)

[発行数] 各回3,000部

② 文化芸術情報の発信

○ メールマガジンの発信

市内で開催される各種文化芸術事業や財団事業、活躍するアーティスト等の情報を提供し、市民の芸術活動への参加を促しました。

[配信] 毎月配信

[配信先] 約4,000件

○ ホームページによる情報発信

誰にでも見やすいホームページとなるよう、全面的なリニューアルを行いました。引き続き市民の文化芸術活動の推進のため、最新情報を速やかにわかりやすく提供できるよう努めました。

○ SNS・動画の活用

財団のPR動画の作成など、文化芸術に関心のある若い世代にも、即時性の高い情報を届けられるようSNSや動画の一層の活用に取り組みました。

③ 文化芸術関係資料のデータベース化

「文化芸術あふれるまちづくり」の推進のため、意欲あるアーティストを登録し、イベント等の主催者に、登録アーティストの紹介など、明石の文化芸術関係資料のデータベース構築及び最新内容への更新に努め、ホームページで公開しました。

(3) 文化芸術活動に関する相談への助言、斡旋および助成を行う事業

① 文化芸術推進助成事業

明石市内において文化芸術活動を行うグループ・団体に事業の経費の一部を助成し、市民が文化芸術に触れ親しむ機会を増やし、明石における文化芸術の振興を図りました。

ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により、3団体の助成事業が中止となりました。

[助成団体数] 19団体(内、中止3団体)

[助成金額] 1,006,000円

○ 1期 15団体

- ①アート企画 dosso、②Pieuvre Saxophone Ensemble、③井川愛(中止)、
- ④明石市いけばな協会、⑤音のみちジャズコンサート実行委員会、
- ⑥明石西シンフォニックバンド(中止)、⑦AKP(明石ケーナプロジェクト)、
- ⑧明石吹奏楽団、⑨めーろプロジェクト、⑩明石伝統芸能協会、
- ⑪エンゼルの郷、⑫明石吟詠連合会、⑬明石市民舞踊文化協会
- ⑭まんまるあかし(中止)、⑮明石ペンクラブ

○ 2期 4団体

- ①明石洋舞協会、②明石合唱連盟、③ニューイヤーコンサート実行委員会
- ④明石弦楽オペラ会

② 相談への助言、斡旋等

文化芸術に関する相談や問い合わせに対して、助言やアーティストの紹介、イベント情報の提供のほか、コロナ禍でのイベント開催判断や感染症対策に関する参考資料等を提供しました。

[相談件数] 約50件

- [主な相談内容]
- ・アーティストの紹介や美術作品の展示場所など美術関係
 - ・ミュージシャンの紹介や演奏場所など音楽関係
 - ・芸術作品の所在確認や古書の寄贈先紹介
 - ・各種イベント等についての問い合わせ
 - ・コロナ禍でのイベント開催判断や感染症対策 など

③ 後援名義の使用許可

後援名義の使用許可申請に対して審査許可を行い、各種イベント・活動を支援しました。

[名義使用許可件数] 41 件

④ MERIDIAN芸術賞

若手アーティストの育成と明石の文化芸術の振興を目的として、明石にゆかりのある有望な若手アーティストを発掘し、顕彰する「明石文化国際創生財団 MERIDIAN芸術賞」については、コロナ禍の影響もあり、2021年度の該当者はありませんでした。

⑤ 公益財団法人10周年コンサートチケットプレゼント企画

公益財団法人移行10周年を記念して、主催・共催・協賛のコンサート等のチケットを一般市民にプレゼントすることにより、財団の事業活動の周知や共催・協賛イベントの支援、並びに幅広く文化芸術の振興を図りました。

[対象コンサート] 明石クラシックコンサート（主催事業・2回）
明石薪能（共催事業・中止）
佐渡裕指揮兵庫芸術文化センター管弦楽団明石公演（協賛事業）
明石フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会（協賛事業）

[プレゼント数] 各コンサートチケット10枚

[対象] 一般市民

公2 国際交流推進事業

市民の国際交流や多文化共生を推進し、多様性を尊重した国際性豊かな市民文化の創生に寄与するため、明石市と連携し、次の事業を推進しました。

1 国際理解に関する事業

国際交流に関する市民の関心を高め、世界各国の文化に対する理解を深めるため国際理解セミナー等を実施しました。また、身近な地域で生活する留学生とのふれあい交流を行い、市民の国際感覚や国際理解を深める事業に取り組みました。

(1) 市民が国際理解を深めるための事業

① 国際理解セミナーの開催

異なる文化や生活習慣を持つ人々が、お互いを尊重し、ともに暮らすことができる地域社会の実現に向けて、外国人講師や有識者等から外国文化や外国人との交流について学ぶセミナーを開催しました。3月のセミナーは講師の都合により中止しました。

[開催時期] ① 9月22日(水) 『韓国のおてしごと体験』

② 3月12日(土) 『英語落語と講演会 笑いで世界をひとつに』(中止)

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[参加者] 一般市民 14名

(2) 市民と外国人との日本文化体験・交流事業

① 日本文化鑑賞会・日本文化体験

市民と在住外国人を対象とした日本の伝統文化の鑑賞機会や、日本文化を体験する機会を提供し、交流を推進しました。ただし、明石薪能については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となりました。

[体験行事]

・明石市合同芸術祭(伝統文化の体験)

・明石薪能(伝統文化の鑑賞)(中止)

② 子ども異文化体験

子どもたちを対象に異文化を身近に感じる機会とする事業を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

(3) 広報活動の推進

① 広報活動の推進

・広報紙の発行

財団機関紙「創生」やフリーペーパーにより、国際交流事業を広く紹介するとともに、国際交流活動をされている団体や個人を紹介し、市民の国際交流活動の推進を図りました。

・メールマガジンの発信

メールマガジンにより、市内の国際交流事業に加え、国際交流活動をされている団体や個人を紹介するなど、市民の国際交流活動の推進を図りました。

② 財団チラシ(多言語版)作成

財団の活動や事業について、在住外国人に広く周知を図るため、転入外国人向けの国際交流事業を紹介するチラシやイベントチラシの英語版を作成しました。

[作成チラシ] 国際交流事業(英語・ベトナム語)

明石薪能(英語版) ※行事は中止

③ SNSの活用

財団の活動や事業について、在住外国人に広く周知を図るとともに、在住外国人とのネットワーク形成にも繋がるよう、フェイスブック等により情報を発信しました。

2 国際交流・協力に関する事業

在住外国人とのふれあい交流を深める事業の実施や国際交流・国際協力に取り組む地域の団体への事業支援を行いました。また、長く続く姉妹都市・友好都市との交流や国際交流事業ボランティアの支援や養成に取り組みました。

(1) 国際交流事業ボランティア支援・養成事業

① ボランティア募集・登録・派遣事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受けるなか、市民主体の国際交流活動や在住外国人との交流事業を展開していくため、広報紙などによりボランティアを広く募集し、登録を行い、派遣先からの要請に応じて派遣しました。

[登録者数] 約 200 人

[募集方法] 広報紙、ホームページなど

[派遣先] 市内・近隣の学校、地域など

[主なボランティア活動の内容]

- ・ゲストティーチャー：学校での特別授業など
- ・ホームステイ（宿泊伴う）、ホームビジット（日帰り）：外国人を家庭に受け入れ
- ・翻訳：文書・パンフレットなどの翻訳
- ・通訳：外国人の子どもに対する学校への通訳派遣、訪問外国人に対する通訳など
- ・日本語学習支援：市内在住外国人を対象とした日本語の学習指導

② ボランティア養成講座

国際交流に関心や興味を持ち、ボランティアを目指す市民等を対象として、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じた上で、各種講座等を実施しました。

○ 国際交流ボランティア基礎講座

国際交流ボランティアを志す市民を対象に、ボランティア活動の基本的な事項や留意事項等を学ぶ講座を企画しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止となりました。

[開催時期] 随時

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[対象] 国際交流ボランティアを志す一般市民

○ 日本語学習支援ボランティアブラッシュアップ講座

在住外国人を対象とした日本語学習支援ボランティアの指導力向上のため、感染症対策を講じた上で、ブラッシュアップ講座等を開催しました。

・オンラインレッスン講座

[開催講座] トライ！オンラインレッスン講座（8月7日（土）開催）

ステップアップ！オンラインレッスン講座（10月23日（土）開催）

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[参加者] 日本語学習支援ボランティア 17 名

・ブラッシュアップ講座

[開催講座] ピンポイント相談会（1月29日（土）開催）

日本語学習テキストの使い方講座（2月12日（土）開催）

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[参加者] 日本語学習支援ボランティア 15 名

○ 英語翻訳・通訳ボランティアスキルアップ講座

地域で生活する外国人を支える語学ボランティアに対して、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じた上で、英語の翻訳や通訳のスキルアップを図るための講座を開催しました。

[開催期間] 9月～11月 10回開催

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし
[参加者] 翻訳通訳ボランティア 16名

○ 多言語ボランティア基礎講座

ホストファミリー（ホームステイボランティアなど）や外国人市民のサポーターを志す人を対象に、他の国の言語や文化を学ぶ機会として、レベルに応じた語学ボランティアスキルアップ講座を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

(2) 国際交流活動の協力支援事業

① 国際交流事業実施団体助成事業

青少年の国際交流活動や在住外国人児童の居場所づくりなど、市内において国際交流や多文化共生に係る活動を行う団体を支援・促進するため、事業補助としての助成金を交付しました。

[助成団体数] ①特定非営利活動法人 多文化共生センターまんまるあかし
②西明石日本語教室

[助成金額] 80,000円

(3) 姉妹都市・友好都市交流事業

① 姉妹都市・友好都市交流事業

明石市からの受託事業として、姉妹都市である米国バレホ市や友好都市である中国無錫市との市民間における交流活動の支援については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

なお、友好都市提携40周年記念事業を受託し、中国語の絵本約150冊を無錫市へ送付しました。

3 多文化共生に関する事業

在住外国人が地域で安心して暮らせる環境整備を図り、多文化共生の住みよい地域づくりへの推進事業を行いました。日本語（言葉の壁）や生活習慣の違いに戸惑う在住外国人が、日本への理解を深めて、日本の生活習慣に慣れていくため、日本語支援や、地域生活で役立つ多言語による情報の提供、生活の中で直面する問題について相談対応などを行いました。

(1) 日本語学習支援事業

① 日本語学習「いろはクラブ」の運営

在住外国人が、日常生活に必要な日本語を、日本語学習支援ボランティアから学ぶ日本語学習講座「いろはクラブ」を、感染症対策に考慮しながら運営しました。従来からの対面式マンツーマンレッスンに加え、リモートで学ぶオンラインレッスンを7月から開始しました。

[開催時期] 4月～3月（オンラインレッスンは7月から開始）

[開催回数] マンツーマンレッスン 延べ413回
オンラインレッスン 延べ84回

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[指導者] マンツーマンレッスン 48人
オンラインレッスン 13人

[学習者] マンツーマンレッスン 60人
オンラインレッスン 15人

② スピーチコンテストの開催

日本語を学んでいる在住外国人を対象に、学習の成果を発表する機会として、日本語によるスピーチコンテストの開催を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

(2) 多言語による情報・相談事業

① 生活情報等の翻訳支援

在住外国人への生活面のサポートとして、行政から発信される生活情報等がしっかりと届くように、行政と登録された翻訳・通訳ボランティアを繋ぎ、防災や健康・福祉・保健など、行政からの生活情報等に関するパンフレットやガイドブックなどの外国語への翻訳を支援しました。

[翻訳資料等] 明石市立夜間休日応急診療所の「診療申込書」の英訳など

② 生活相談のサポート

在住外国人からの生活にかかる相談や問い合わせに対して、適切な窓口を紹介し、登録された翻訳・通訳ボランティアを派遣するなど、多言語による生活相談をサポートしました。

[相談事例]

- ・介護保険制度に関すること
- ・新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の付き添い など

③ SNSによる生活情報提供

在住外国人に対して、新型コロナウイルス感染症関係など、生活情報をフェイスブック等により提供しました。

(3) 地域における国際交流事業

① 異文化交流広場

子育て世代や子どもたちなど、幅広い世代の市内在住外国人と市民が交流し、相互理解を深める機会として、交流広場事業を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催を見送りました。

② やさしい日本語講座

在住外国人と市民との交流を促進するため、外国人が聞き取りやすい「やさしい日本語講座」を、感染症対策を講じた上で、開催しました。

- ・外国人に伝える！伝わる「やさしい日本語」講座

[開催日] 2月5日(土)

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[参加者] 一般市民等 20名

- ・外国に繋がる子どもの支援者向け講座

[開催講座] 1月22日(土)

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[参加者] 一般市民等 14名

2 その他事業

他1 明石フィルハーモニー支援事業

明石フィルハーモニー管弦楽団及び明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラが演奏活動やアウトリーチ活動を計画的・効果的に行い、明石フィルハーモニー協会がオーケストラの運営を自主的に行っていくよう助言するとともに、演奏会場、練習会場、及び楽器倉庫の確保、並びに後援会組織「たこフィル倶楽部」の運営などをサポートしました。

3 財団の管理運営に関する事項

1 理事会の概要

開催年月日	案件番号	案 件	可否
令和3年5月18日 (第36回)	議案第92号 議案第93号 議案第94号 議案第95号	令和2年度 事業報告について 令和2年度 決算報告について 理事候補者の推薦について 第20回評議員会の開催について	可決 可決 可決 可決
令和3年5月26日 (第37回)	議案第96号 議案第97号	理事長の選定について 常務理事の選定について	可決 可決
令和4年2月25日 (第38回)	議案第98号 議案第99号	定款の改正案について 第21回評議員会の開催について	可決 可決
令和4年3月30日 (第39回)	議案第100号 議案第101号 議案第102号 議案第103号	令和4年度 事業計画について 令和4年度 収支予算について 副理事長の選定について 常務理事の選定について	可決 可決 可決 可決

2 評議員会の概要

開催年月日	案件番号	案 件	可否
令和3年5月25日 (第20回)	議案第36号 議案第37号 報告第11号	令和2年度 決算について 理事の選任について 令和2年度 事業報告について	可決 可決 了承
令和4年3月30日 (第21回)	議案第38号 議案第39号	定款の改正について 理事の選任について	可決 可決

3 評議員選定委員会の概要

開催年月日	案件番号	案 件	可否
令和3年5月18日 (第8回)	議案第8号	評議員の選任について	可決

4 役員の状況（令和4年3月31日現在）

○理 事

- ・理 事 長 崎野 圭子
- ・常務理事 大西 裕幸
- ・理 事 藤岡 勝義 竹内 利江

○監 事 山本 直樹 箕作 浩志

5 評議員の状況（令和4年3月31日現在）

- 評 議 員 分玉みどり 竹中 信清 藤野 一夫 望月 康恵 岩崎 充臣

6 評議員選定委員会の状況（令和4年3月31日現在）

○委員 林 祝雄 永田 晋也 栢本 佳子 山本 直樹 黒谷 友紀

7 職員数（令和4年3月31日現在）

○事務局長 1名

○事務局員 13名

8 行政官庁許可事項（届出事項・登記など）

異動年月日	申請・提出先	内 容
令和3年5月27日	神戸地方法務局	公益財団法人変更登記申請
令和3年6月18日	兵庫県知事	変更の届出
令和3年6月30日	兵庫県知事	事業報告等の提出
令和4年3月30日	兵庫県知事	事業計画書等の提出